

Q Report 2/4

第69期第2四半期(中間)報告書
(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

TOMITA

SINCE 1911

証券コード：8147



株 式 会 社



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととご推察申し上げますとともに、平素のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

平成28年3月期第2四半期を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに第2四半期決算の状況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に緩やかな景気の回復が続きました。

わが国の工作機械業界は、当第2四半期連結累計期間は、国内では需要が回復し前年同期比27.8%増加しましたが、海外は中国や東南アジア等新興国向けの需要が減少し前年同期比14.5%減少となったため、国内外全体の受注額は0.7%減少し7,559億円となりました。

こうした環境下、工作機械を主力取扱商品とする当社グループの受注・売上につきましては、海外部門は東南アジア地域での受注・売上減を主因として減少、国内部門は景気回復が続く中で需要が回復し増加しました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は107億5千5百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は5億8千7百万円（同27.6%増）、経常利益は6億2千万円（同20.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億9百万円（同10.6%増）となりました。

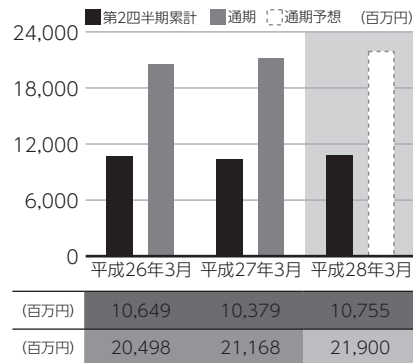
わが国経済は、緩やかな景気の回復が続いておりますが設備投資に様子見姿勢が見られます。海外では、米国経済や欧州経済は緩やかな景気回復が続くと予想されますが、中国経済の成長鈍化と貿易を介した各国への影響など、景気への懸念材料もあります。当社グループは国内においては地域密着型営業の徹底、ユーザーの技術部門等への提案営業及び新規設備投資が活発な業界へのアプローチ強化を引き続き行っておりまいます。海外においては、平成24年に開設したメキシコ拠点と平成25年に開設したインド拠点の営業を更に拡大し、日本の製造業の海外生産活動へのサポートを強化し、今後も海外拠点の活動を拡充してまいります。また、海外の地場エンジニアリング会社とタイアップしてのライン等のシステム提供を含め、取扱製品、提案、サービスをより高度なものへと進化させ、グローバルに高度化かつ多様化するお客様のニーズにお応えしてまいります。

株主の皆様には、今後とも変らぬご支援・ご指導を賜りたく衷心よりお願い申し上げます。

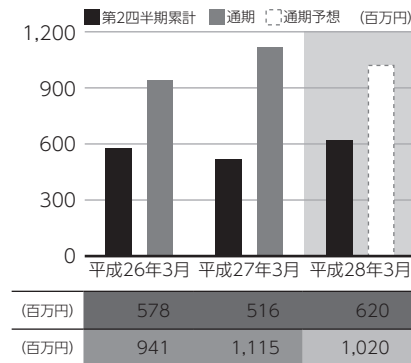


取締役社長 **富田 薫**

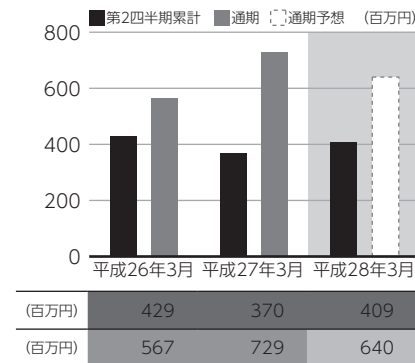
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



■連結貸借対照表（要旨）

(百万円)

科 目	当第2四半期 (平成28年3月期 第2四半期末)	前期 (平成27年3月期末)
資産の部		
流動資産	9,993	9,954
固定資産	3,387	3,580
有形固定資産	1,116	1,124
無形固定資産	30	36
投資その他の資産	2,241	2,419
資産合計	13,381	13,534
負債の部		
流動負債	5,754	5,965
固定負債	888	958
負債合計	6,642	6,924
純資産の部		
株主資本	5,431	5,144
その他の包括利益累計額	1,154	1,306
非支配株主持分	153	159
純資産合計	6,739	6,610
負債純資産合計	13,381	13,534

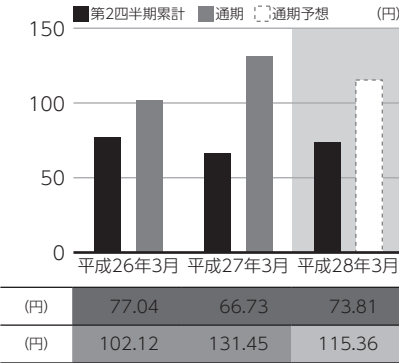
■連結損益計算書（要旨）

(百万円)

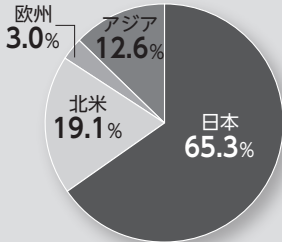
科 目	当第2四半期 (平成28年3月期 第2四半期/累計)	前第2四半期 (平成27年3月期 第2四半期/累計)	前期 (平成27年3月期)
売上高	10,755	10,379	21,168
売上原価	8,971	8,832	17,803
売上総利益	1,783	1,547	3,364
販売費及び一般管理費	1,195	1,086	2,401
営業利益	587	460	962
営業外収益	72	78	197
営業外費用	39	22	45
経常利益	620	516	1,115
特別利益	1	0	0
特別損失	—	13	14
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	621	502	1,102
法人税、住民税及び事業税	195	109	390
法人税等調整額	21	25	△14
四半期(当期) 純利益	404	367	725
非支配株主に帰属する 四半期(当期) 純利益	△4	△2	△3
親会社株主に帰属する 四半期(当期) 純利益	409	370	729

(注) △印は、損失を示しています。

■1株当たり四半期(当期) 純利益



平成28年3月期第2四半期 地域別売上構成



＜日本＞

工作機械の受注・売上が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は70億2千8百万円(前年同期比11.9%増)となり、営業利益は3億5百万円(同58.6%増)となりました。

＜北米＞

自動車メーカー関係向けの受注・売上が減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は20億5千3百万円(前年同期比6.6%減)となりましたが、経費節減等に努め営業利益は1億7千6百万円(同24.4%増)となりました。

＜欧州＞

自動車メーカー向けの受注・売上が回復し、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億1千8百万円(前年同期比11.6%増)となり、営業利益は2千9百万円(同83.6%増)となりました。

＜アジア＞

自動車・2輪車メーカー関係向けの受注・売上が減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は13億5千5百万円(前年同期比16.2%減)となりましたが、営業利益は3千万円(同44.9%減)となりました。

■株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
株主配当受領 3月31日（中間配当を行う場合9月30日）
株主確定日
定時株主総会 6月中に開催
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店
で行っております。
単元株式数 100株
公告の方法 ホームページに掲載いたします。
URL : <http://www.tomitaj.co.jp>

（お知らせ）

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、
特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■会社の概要（平成27年9月30日現在）

商 号	株式会社トミタ
創 業	明治44年5月1日
設 立	昭和18年4月26日
資 本 金	397,500,000円
事 業 所	
本 社	東京都中央区銀座8-3-10
本 社 事 務 所	東京都大田区大森中1-18-16 営業統括本部 電話 03 (3765) 1185 (代)
大 阪 支 店	名古屋支店 静岡営業所 栃木営業所
神 奈 川 営 業 所	北陸営業所 埼玉営業所 茨城営業所
中 国 営 業 所	山梨事務所 四国事務所 東北事務所

■役員の状況（平成27年9月30日現在）

取締役社長	富 田 薫
専務取締役	田 中 弘 伸
常務取締役	三 井 信 陽
取 締 役〔営業統括本部長〕	富 田 稔
取 締 役〔営業統括本部副本部長〕	樋 口 勝 幸
取 締 役〔名古屋支店長〕	木 下 武
取 締 役〔営業統括本部副本部長兼海外営業部長〕	八 柳 方 彦
取 締 役〔総 務 部 長〕	中 村 龍 二
取 締 役〔中部・西日本営業部長兼大阪支店長〕	栗 田 純 夫
取 締 役〔東 日 本 営 業 部 長〕	樺 木 徹
常勤監査役	小 川 友 明
社外監査役	植 元 巽
社外監査役	土 師 良 一

■関係会社

- 株式会社トミタファミリー
- 株式会社ツールメールクラブ
- TOMITA U.S.A.,INC. (OHIO)
- TOMITA U.S.A.,INC. (ALABAMA)
- TOMITA U.S.A.,INC. (INDIANA)
- TOMITA U.K.,LTD. (OXON)
- TOMITA U.K.,LTD. (DURHAM)
- TOMITA ASIA CO.,LTD. (BANGKOK)
- TOMITA ASIA CO.,LTD. (CHONBURI)
- TOMITA CANADA,INC. (ONTARIO)
- 广州富田貿易有限公司 (GUANGZHOU)
- PT.TOMITA INDONESIA (BEKASI)
- VIETNAM TOMITA CO.,LTD. (HANOI)
- TOMITA MEXICO,S.DE R.L.DE C.V. (LEÓN)
- TOMITA MEXICO,S.DE R.L.DE C.V. (QUERETARO)
- TOMITA INDIA PVT.LTD. (GURGAON)

株式会社トミタ
東京都中央区銀座8-3-10